

科 目 名
ドイツ語Ⅳ German IV

3 年 後期 2 単位 選択

福 山 洋

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：1-(1), 2-(1), 3-(5)

建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準 1 の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
A	—	建築総合コース	選択	22.5時間
	A 4	建築計画コース		
	f	建築構造コース		

【概 要】

ドイツ語学習の基本事項をおさえながら、テキストレベルでのより良い理解と運用のために応用練習をさらに行う。

【到達度目標】

- (1) ドイツ語の理解と運用のための基礎を拡充し、应用能力を高める。
- (2) 国際理解・異文化理解を進める。

【授業計画】

テ ー マ	内 容
① 第5課	話法の助動詞 ドイツ語の特徴である梓構造について学習します。動詞にはいろいろなニュアンスを加味する話法の助動詞と前置詞の使い方を覚えることで、表現の幅がとて広がります。
②	練習を通じて、文法事項の確認をし、さらなる応用力と表現力を養成します。
③	練習を通じて、文法事項の確認をし、さらなる応用力と表現力を養成します。
④ 第6課	一週間のスケジュール 何曜日に何をするか、言えるようになります。
⑤	意見を述べる、形容詞
⑥	練習を通じて、文法事項の確認をし、さらなる応用力と表現力を養成します。
⑦ ①～⑥の総括	①～⑥の総括と中間テスト
⑧ 第7課	ピクニックに誘う、zu不定詞句、名詞の複数形 ピクニックなど、人を何かに誘うときに必要な表現を学習します。
⑨	待ち合わせ場所に関する表現、前置詞
⑩	練習を通じて文法事項の確認をし、さらなる応用力と表現力を養成します。
⑪ 第8課	過去の出来事について述べる、現在完了形（1） ドイツ語では現在完了形を使うと、過去の出来事を述べることができます。
⑫	現在完了形（2）
⑬	練習を通じて文法事項の確認をし、さらなる応用力と表現力を養成します。
⑭	予備日（過去形）
⑮ 総 括	総 括
⑯ 期末テスト	

【授業方法】

講義と演習を行う。

【評価方法】

試験による（100％）。

【教科書・教材】

板山眞由美 他著「ベーシック版自己表現のためのドイツ語」三修社

【履修上の注意】

与えられたテキストを理解できるようになることが基本的な目標である。授業には、教科書と共に辞書も持参すること。受講者はドイツ語Ⅰ・Ⅱを一通り勉強した者であることを要す。